

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	杉山晶彦
所属機関名	獣医学部 獣医学科
職位	教授
在籍年	7 年

教育の責任

獣医学部獣医学科に所属し、獣医病理学の教育に従事している。主たる担当科目は、獣医病理学総論、獣医病理学各論、獣医病理学実習、獣医病理解剖学実習、総合獣医学演習 I、総合獣医学演習 II および卒業論文指導である。

教育の理念

複雑で変化の激しい社会の中で、未知の課題に対し自律的に取り組む力や他者と協力共存できる力が益々重要となってきた。よって、自ら問いを立てて、それを解決するために主体的に学び、そしてその修得した知識を使って自身の思考や判断を確立する、そういった主体性のある問題解決力を有した人材の育成を自らの教育目標としている。同時に、対話や議論を通じて、自身の考えを根拠とともに他者に明確に説明し、そして他者の考え方を理解して自身の考えに取り入れることも重要であることから、コミュニケーション力を養成すべく教育を展開している。

教育の方法・方針

獣医病理学は動物の疾病の原因と成り立ちを明らかにする学問であり、基礎獣医学と臨床獣医学の橋渡しの学問分野として位置付けられる。コアカリキュラムの獣医病理学の教科書で扱われている内容は膨大であり、かつ当該内容を理解するためには基礎獣医学の知識を必須とする。単に教科書の記載内容を羅列するだけでは、学生に真の理解を促すことが困難であることが予測できることから、下記の教育方法を実践している。

- ・モデルコアカリキュラムの教科書の記載内容の理解度を高めるために、関連した知識、知見を十分に補足し、再構成して講義を展開している。
- ・思考力を養成するための自学自習用教材として、オリジナルの演習問題を配布している。当該演習問題は過去 20 年間に於いて獣医師国家試験に出題された問題を参考にして作成しているが、獣医師国家試験の問題をそのままの形で提供することはせず、教育効果を高めるために改変を施して提供している。当該演習問題は獣医師国家試験対策用の教材としても十分に活用することが可能である。

また、コミュニケーション力を養成すべく、実習や卒業論文指導においては個々の学生がどのような思考経路を経てそのような結論を得たのかを、十分にディスカッションするように心掛けている。

教育の成果

学生アンケートでは、回答者の 90%より「満足」「やや満足」との回答が得られた。また、「この分野への理解が深まった」「この分野への興味、関心が高まった」「この分野と他分野との関連性について理解できた」「この分野での技能・技術が向上した」「今後の進路の参考になった」との評価が得られた。

今後の目標

「獣医病理学」教育が担う学問領域は非常に広く、多くの動物種における全身臓器の疾患が教育対象となる。しかしながら、教員自身の知識が乏しい分野が存在することはあってはならない。また、新たな疾病が発見されることや既知の疾病ではあるが新規の病理学的知見が見出されることが往々にして起こっている。よって、教員自身が絶えず学修を重ね、十分な知識の修得に励みたい。

根拠資料

2025 年度 獣医病理学各論 学生アンケート